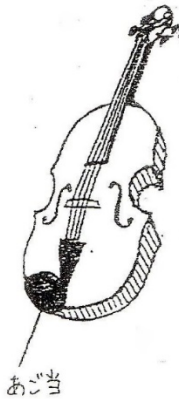


オーケストラの楽器

① 弦楽器 …… 弦を弓でこすり、振動させて音を出す楽器です。オーケストラでは中心的な存在です。



ヴァイオリン

4種の弦楽器の中で一番小型で、高い音を出します。オーケストラでは1stと2ndに分かれ、主に旋律を担当します。

弓



馬のしっぽの毛がはってあります。



ヴィオラ

高音域のヴァイオリンと低音域のチェロとの間を充実する重要な楽器です。ヴァイオリンよりも少し大きい。



チェロ

和声の基礎となる低音楽器として用いられますが、美しい旋律も「ばいば」でできます。全長約1.2メートル。

コントラバス

最も大きい最低音楽器です。低音を充実させるには欠かすことができません。全長約2メートル。



馬弓

Violin (ヴァイオリン)

◆ 楽器紹介

- ・ オークストラの中で最も有名な楽器の1つで、弦楽器の花形でもあります。弦楽器の中で一番小さく、高い音域を担当しています。優雅できらびやかな音色が特徴で、豊かな表現で聴く人を魅了します。
- ・ オークストラでは、ヴァイオリンは1stと2ndの2つのパートに分かれます。
 - 1stは主にメロディーを担当し、オーケストラの中心を担っています。2ndに比べて高音で、高度な技術を要求されることもありますが、主旋律を弾くことができるという魅力があります。
 - 2ndは1stのメロディーにハモったり、1オクターヴ下で支えたり、あるいはリズムを刻んだり、時には主旋律を演奏したり…と、多彩な役割を担っています。「2ndが好き」と言うだけで友人感出るかも。
 - 1stと2ndは原則演奏会ごとに組み替えるので、どちらの楽しさも味わえます。

◆ 練習について

月 or 木	全奏	本郷	18:00～ 21:00	オーケストラ全体での練習。本番を振る指揮者の先生が指導してください。自主練習も数回行います。
水	パート 練習	駒場 (or 外部施設)	18:45～ 21:00	ヴァイオリンパートのみでの練習。パートリーダーを中心に1stと2ndに分かれて練習します。
月 or 木	分奏	本郷	18:00～ 21:00	弦楽器のみでの練習。様々なプロの弦楽器奏者の先生に練習を見ていただきます。自主練習も数回行います。

※ この他に、1対1で上級生が下級生を見てくれる、個人分奏という練習があります。先輩たちからそれぞれの経験に基づいたアドバイスを個別にもらえるので上達しやすいだけでなく、様々な先輩と親しくなれるので、新入生もオケに馴染みやすく安心して練習に参加できます。

※ パート練習の場所は時節柄流動的になる可能性があります、担当の者が学内・学外施設を確保します。

◆ 募集要項・その他

- ・ 現在のヴァイオリンパートは30が13人、01が11人、02が13人となっています。経験年数は2年～20年近くと人により様々ですが、どんなレベルの人でも必ず圧倒的に成長できる環境を保証します。
- ・ 募集人数は12人～14人程度を考えていますが、経験の有無は問いません。やる気をもって練習を継続できれば、問題ありません。
- ・ 自分の楽器を持っていない方には団所有の楽器を貸し出します。また、個人レッスンに通うことを推奨しており、現在通う先がない方には個人レッスンの先生の紹介も行っています。

ヴァイオリン・音楽が大好きな仲間たちと一生モノの思い出を作りませんか？
東大オケと一緒に演奏できる日を心よりお待ちしております。

♪30Vn. 佐藤祐希

Viola (ヴィオラ)

◆ 楽器紹介

一人の violist として、楽器紹介冒頭でこのようなことを書くのもなかなか情けないのですが、はっきり言って viola は弦楽器の中では violin や cello と比べて演奏者数が少なく、マイナーなイメージの強い楽器です。音域も violin と cello の真ん中くらいというなんとも微妙なポジションです。見た目も violin と似ていて、大体見間違えられます。

しかし、viola の音色には【他の弦楽器にはない深み、渋さ、暖かさ】があります。この音色が縁の下の力持ちとして加わることで初めてオケ全体の響きが豊かになると言っても過言ではありません。もちろん支えるだけが役割ではなく、その奥深い音色を存分に活かした旋律も任されます。この viola 独特の響きに惹かれ、violin 等の他楽器から転向する人も少なくありません。

そして、オケの曲にもカルテット等弦楽の曲にもほぼ必ず viola は含まれています。演奏者数が少ないのに出番が豊富、つまり【演奏機会に恵まれている】のです。弦楽器の中では最も多くオケの曲を演奏できるパートの一つですし、室内楽を演奏する機会にも非常に恵まれています。

◆ 練習について

全奏：指揮者によるオーケストラの全体練習

弦分奏：プロの先生による弦セクション練習

月、木曜日 本郷にて 18:00～21:00 (授業期間外 17:30～)

パート練習：viola パートのみでの練習

日曜日 駒場にて 10:00～13:00 (時間、場所共にときおり変更)

基本的に練習は参加必須で週3回です。また、有料公演前には週末に外部のホールを借りた練習が二、三回入るほか、先輩と1対1で練習する個人分奏も適宜行います。加えて、個人的にレッスンにも通っています。レッスン先は現役の団員が紹介することもできます。

◆ 募集要項・その他

viola 初心者大歓迎です。音楽自体が初めての人も他の楽器から転向する人もお待ちしております。現役のパート員は10名で、男：女 = 5：5、経験者：初心者 = 5：5です。本年度の募集人数は【6名程度】、うち初心者【1名】(2名以上応相談)の予定です。3台までは団所有の楽器を1年間お貸しできます。その後は自分の楽器を入手して頂くことになります。

◆ 最後に

viola は例年他の弦楽器に比べて初心者の割合が高いパートですが、先輩の指導や恵まれ過ぎるほどの演奏機会の中で揉まれ、みな立派に一人前としてすばらしい音色を奏でて活躍しています。初心者でも臆することなく飛び込んでみてください。

viola を既に弾いているという方は、もう viola の魅力をご存知でしょう。どうかその力を当団で遺憾なく発揮してください。十二分に音楽を楽しめる環境がそろっています。

これを読んでくださった皆さんと一緒に演奏できる日がとても待ち遠しいです。

♪30Va. 宮田和昌

Violoncello (チェロ)

こんにちは。東大オケチェロパートです。皆さまご入学心よりお祝い申し上げます。このページでは、チェロという楽器について、そして東大オケチェロパートについて紹介させていただきます！

◆ チェロってどんな楽器…？

チェロという楽器は、オーケストラにおいてどんな役割もこなすとても美味しい楽器です。美しい旋律を任されることも多いですし、時には内声として和声を作り、またコントラバスなどと共にオーケストラ全体を支える低音も担います。楽器自体の音色も、落ち着きと深みがあり、名だたる作曲家がチェロのために数々の名曲を残しています。東大オケ全体のアンケートでも、「もし違う楽器をやるとしたら？」という質問の答えの1位の常連がこのチェロという楽器です。また弦楽器では最大の音域を演奏できるため、演奏の幅も広く、低音で朗々と演奏するというイメージが強いかもしれませんが、高音域を使った演奏も迫力があります。2CELLOSなどはその代表ですね！知らない方は検索してみてください。イケメン2人が髪をぶん回しながらロックにチェロを弾いていることでしょう。チェロの可能性は無限大な訳です。チェロこそが至高、人類がこの地上に生み出した奇跡であり、世界の本質であるということは疑いようもありません。

では続いて、東大オケでその素晴らしき楽器、チェロを担当するチェロパートについて、この場を借りて少し紹介させていただきます。

◆ 練習について

基本的に月木金の週3回。月木が全奏と弦分奏（@本郷キャンパス）で金曜がパート練習（@駒場キャンパス）です。時間は基本的には18:00~21:00です。この他に、先輩と1対1で行う個人分奏というものが1つの演奏会に対して数回あるのに加え、ホールを借りて練習を行うなどの臨時練習もしばしば行われます。基本的には全ての練習に参加してもらうことになります。

また、パート練習ではN響の先生（！）がみてくださることもあります。東大オケに来てくださるチェロのトレーナーは本当に日本でもトップ中のトップの方々で、指導も素晴らしいもので、その経験は人生の宝物になると思います。

今は会食ができないためしていませんが、例年は金曜日のパート練習後はみんなで（自由参加で）ご飯に行っています！

◆ 募集要項・その他

現在のチェロパートは2年生が5人、3年生4人、4年生が2人の計11人です。個性豊かなメンバーによって、総じてマイペースでアットホームな空間が広がられています。

今年は団員を4人募集します。5人までは許容範囲です。そのうちチェロ初心者は2人までとさせていただきます。楽器については基本的に2年生になるまでに買っていただきます。1年生のうちは団器をお貸しできます。現在チェロパートには初心者で始めたパート員が2人います。2人ともそれぞれがチェロを通じて音楽に真摯に向き合い、今では2人とも素晴らしい奏者になっています。

経験者の人、もちろん大大大歓迎です。経験者は五月祭から、初心者の方は秋の駒場祭から、ステージに立つことになります。

ここまでチェロという楽器についてや東大オケチェロパートについて紹介させていただきましたが、書ききれないことも多くあります。興味を持ったり、何か聞きたいことがあれば是非連絡ください！

それでは、みなさんと一緒に演奏できることを心よりお待ちしております！

♪ 30Vc.

Contrabass(コントラバス)

◆ 楽器紹介

コントラバスはオーケで通常使われる弦楽器の中で最も大きく、ヴァイオリンのお化けとも言われます(言われません)。立って、あるいは高い椅子に腰かけて弾きます。弦が長く胴体が大きいため、ピチカート(手で弦をはじいて鳴らす奏法)の音色がとても印象的です。弦楽器のなかで最も音域の低い楽器で、オーケストラでは土台に徹し、主旋律はあまり担当しません(するときもあります。これがおいしい)。という土地味な楽器に聞こえますが、実際はサイズが大きいため目立ち、動きが大きいため目立ち、音域が低い目立つという、とにかくおいしい楽器です。また、クラシック音楽において低音部の動きは曲の枠組みを決定する要素で、音響的にもコントラバスがなければオーケストラの音量は半分になってしまうとも言われます。大変重要な楽器です。

近代以降の作曲家には、コントラバスに独自の音型を任せた人もいます(ヴェルディ、マーラー、シベリウス...)。この楽器は他のジャンルでも頻りに用いられ(ジャズ・吹奏楽・民族音楽)、そういった方面に進出することも可能です。

◆ 団所有の楽器について

東大オーケは演奏会用のコントラバスを10台所有しています。ちなみに、うち3台は五弦の楽器です(やたらと高価!)。入団してから4年間、楽器本体を買う必要はありません。演奏会や合宿では楽器をトラックで運搬していただくので、身軽に会場へ向かえて楽です。弓もお貸ししていますが、こちらはのうちご自分で買っていただくことになります。

◆ 練習について

他の弦楽器と同様、月曜と木曜に練習があり、それに加えて土曜の朝 9:30~12:30 でパート練習を行っています(本郷キャンパスの第二食堂)。また楽器初心者・経験者に関わらず、先輩が一对一で練習を見る時間も設けています。パート練習が土曜の午前なので、早起きの習慣がつかますし、普段無駄にしがちな土曜午前有意義に使えます。

◆ 募集要項・その他

今年度の募集人数は【2人】です。経験の有無は問いません。2人よりも希望者が多かった場合は相談しましょう。皆さんと一緒に音楽ができるのを楽しみにしています!

♪30Cb. 野々下由真